

平和

小学校高学年

中学校

高校

社会

地歴

総合

NHKスペシャル  49分

少女たちの戦争 ～197枚の学級絵日誌～

(2014年放送)

この番組の良さ



地方の町の戦時下の日常

第二次世界大戦中、滋賀県大津市にあった瀬田国民学校五年智組では、担任教師の発案で学級絵日誌を始めました。それは子供たちにより一年間続けられ、197枚綴られました。その日誌は、戦時下にありながらも不思議な明るさを持ち、色鮮やかな絵とともに、その日にあったこと、感じたことや思ったことなど、毎日の学校生活の様子を伝えてくれます。この番組では、学級絵日誌から、地方の町の戦時下の日常を知ることができます。

戦争がもたらす子供たちの心の変化

戦況が悪くなり、戦争の影が近づいてくるにつれ、少女たちの綴る絵日誌にも、次第に好戦的な言葉や敵がい心をむき出しにした言葉が増えていきます。変わりゆく学級絵日誌から、戦争によって少女たちの生活や心が変化していく様子を知ることができます。番組から、戦争が子供たちに及ぼすさまざまな影響についても考えることができます。

番組活用のポイント

絵日誌から見えてくる戦時下の国民の暮らし

小学校の社会科では、「国民が大きな被害を受けたことが分かるように」、中学校の社会科では『戦時下の国民の生活』については、身近な地域の事例を取り上げるなどして、戦時体制下で国民の生活がどう変わったかに着目させる」など、第二次世界大戦中の国民の生活について学習することが各学習指導要領解説で定められています。しかし、戦後70年が経過し、戦争自体を身近に感じるできない児童生徒も少なくありません。また、「調べる」活動の中で、実際に体験者に聞き取りを行うことも難しくなっています。

この番組は、戦時下の国民の生活がどのようなものだったのか、また戦争が子供たちや人々の生活や心にどのような影響を与えたのかを、「学級絵日誌」という身近なものからうかがい知ることができます。

心の中に広がる戦争について考える

番組を視聴する上で大切にしたい点は、子供たちや国民がどのように戦争に巻き込まれ、「お国のため」に戦場に兵士を送り出し、銃後を支えるようになったのかということです。出征する夫を笑顔で送り出す妻が、なぜ前日に人目を忍んで泣き崩れていたのか。大人の世界にある表と裏とは何だったのでしょうか。「戦時下でも優しい気持ちをもってもらいたい」という担任の思いとは逆に、徐々に「寂しい」「苦しい」など、素直に思いを表すことが難しくなり、好戦的な言葉や戦争を描く絵が次第に登場していく絵日誌。なぜこのように変化していったのでしょうか。これらの疑問を考えることが、「心の中に広がる戦争」について、また戦時下の国民の暮らしについて深く考えることにつながります。番組の視聴から、戦争とは何か、戦争が子供たちや国民の心にもたらした影響とは何かを考えさせたいものです。

学習展開例

授業時間 90分



沖縄県立
総合教育センター
研究主事 甲斐 崇

新着

戦争中の子供たちの暮らしとは？ 戦争が与える影響について考えよう！

平和

時間配分	学習活動	教師の支援
5分	<p>①これまでに戦争について学習したことを振り返る。</p> <p>②戦争中と現在の子供たちの暮らしを比較する。 学習課題：「戦争中の子供たちはどのような暮らしをしていたのだろうか」</p>	<p>○第二次世界大戦に至るまでの経緯などを教科書である程度学習した上で視聴すると効果的である。</p> <p>○番組を視聴する前に子供たちのふだんの生活を想起させた上で、戦争中の子供たちの暮らしぶりについて予想させる。</p> <p>○勉強やスポーツなどは「誰のために」、「なぜやるのか」についても考えさせたい。</p>
50分	<p>③気づいたことをメモしながら番組を視聴する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  <p>視聴 TV 学級絵日誌が始まったばかりの1944年4月、畑仕事の様子を表したものだ。</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>戦地に出征する兵士を、万歳しながら見送る様子を表した絵日誌。6月になり、少しずつ絵日誌の内容に変化が出てくる。</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>最後となった翌年3月19日の絵日誌。「にくらしきB29、今に見ているこの戦」と、真っ黒なB29と好戦的な言葉が並ぶ。</p> </div> </div>	<p>○授業は2時間扱いとし、全て視聴するものとする。</p> <p>○視聴しながら、難しい言葉は教師が補足する。</p> <p>○校種や教科によって全ての視聴が難しい場合は、いくつかの絵日誌にしぼって視聴する。</p> <p>○視聴のポイントとして、学級絵日誌の絵や文章から、戦争が子供たちの学校生活に影響を与えた場面やエピソードについて、簡単にメモを取るように促す。</p> <p>○授業導入時に確認した、現在の子供たちとの暮らしとの相違点に着目させて視聴するとよい。</p>
25分	<p>④視聴メモから、戦争中の子供たちの暮らしの様子や、戦争が子供たちや国民の生活に影響を与えた場面・エピソードなどについて発表し、共有する。</p> <p>⑤絵日誌の内容や子供たちの心情が徐々に変わっていった理由について考え、グループで意見をまとめる。</p>	<p>○子供たちや国民の生活に影響を与えた場面やエピソードについて、意見を聞き、板書で整理する。</p> <p>○さまざまな場面やエピソードから、当時の子供たちや国民が「誰のために」「何のために」生活していたのか、また、それはどうしてなのか、「心に広がる戦争」をキーワードに考えさせたい。</p> <p>○とらえにくい場合は、少女たちが絵日誌に本当の気持ちを書けなかった理由など、焦点化して考えさせたい。</p>
10分	<p>⑥番組やグループでの話し合いから、考えたことや思ったことをノートやワークシートにまとめる。</p>	<p>○戦争中の子供たちの暮らしや、戦争が子供たちや国民にもたらしたことについて、自分の考えや思いを整理する時間としたい。</p> <p>○時間があれば発表させる。</p>